

第4章 ごみ排出量等の将来予測

1 人口予測

(1) 将来人口予測

この計画の将来人口の設定に当たっては、武蔵村山市第四次長期総合計画で設定された想定将来人口と同じく、平成29年度で76,000人と想定した。

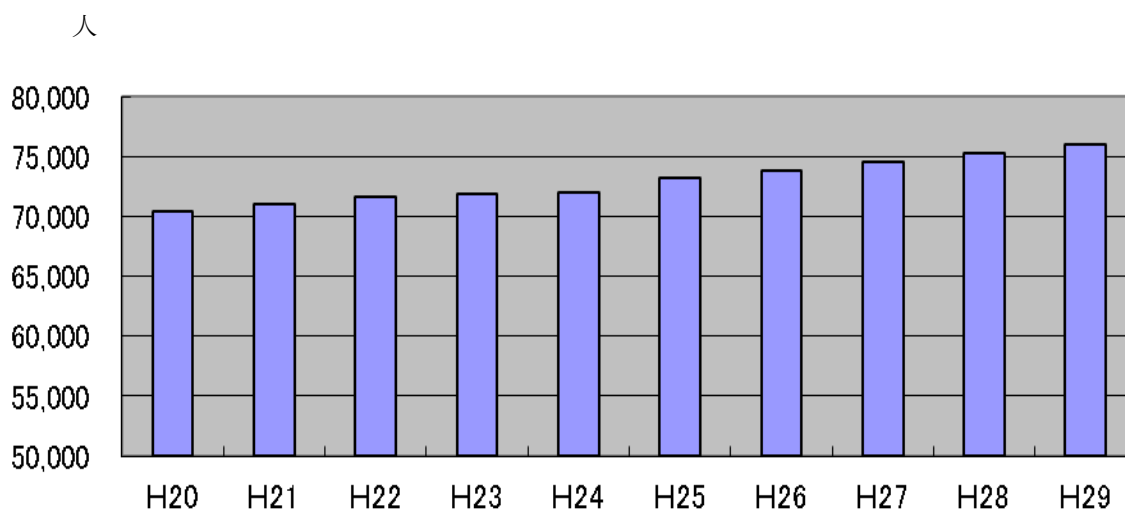
表 4-1 人口推計

(単位：人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人口	70,802	71,358	71,625	71,896	71,975	73,300	73,900	74,600	75,300	76,000

※ 平成24年度までの数値は、各年度3月31日現在の実績である。

図 4-1 人口推計



2 ごみ量予測

本市における今後のごみ処理事業の在り方を検討するに当たって、将来排出されることが見込まれるごみの種類と量を予測する必要がある。

本市の1人1日当たりのごみ排出量は、平成15年度から減少傾向にある。これは、本市がこれまで実施してきた資源の分別収集(平成7年度)、ごみ処理手数料の改定(平成17年度)及び現在の14分別収集(平成23年度)による効果と、環境教育・環境学習の浸透、環境意識の高まりの中での、市民等のごみ減量化への意欲が向上してきたものと推測される。

しかし、現状の施策を継続していただくだけでは減量効果に限界が生じ、更なる減量化を図るためには新たな施策の展開が必要となる。そこで、現状のごみ処理事業をこのまま継続した場合のごみ排出量を予測し、この予測を踏まえ、今後のごみ処理事業の在り方を検討し、将来的なごみ処理等の目標を設定する。

(1)ごみ総排出量

ア 家庭系ごみの排出量

市民1人1日当たりの排出量(平成24年度の実績値)がそのまま横ばいで推移すると仮定し、これに将来人口予測を乗じて予測する。

イ 事業系ごみ排出量

事業系ごみは、平成17年度のごみ処理手数料の改定により、減少傾向を示したが、大規模排出事業所の建設により、平成18年度は、若干の増加傾向を示し

た。また平成24年度についても増加傾向を示し、今後の動向については、経済的要因等ごみ量に与える諸条件に不確実性があるため、事業系ごみの排出量は、平成24年度実績値で推移すると予測する。

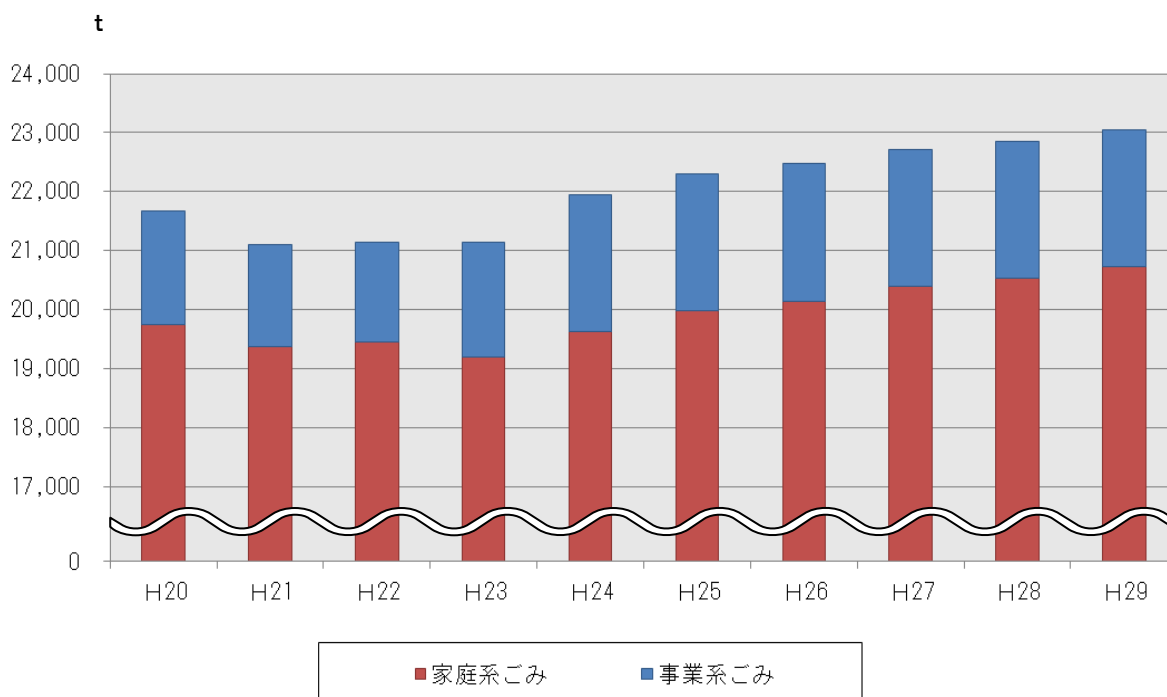
※ ここでいう事業系ごみには、指定収集袋での排出量は含んでいない。

表 4-2 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ総排出量の見込み (単位:t)

年度 区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
事業系ごみ	1,915	1,723	1,698	1,953	2,321	2,321	2,321	2,321	2,321	2,321
家庭系ごみ	19,750	19,373	19,451	19,191	19,623	19,986	20,149	20,396	20,531	20,722
合計	21,665	21,096	21,149	21,144	21,944	22,307	22,470	22,717	22,852	23,043

※ 平成24年度までの数値は、実績である。

図 4-2 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ総排出量の見込み



(2)ごみ総排出量の内訳

ア ごみ総排出量の内訳

排出されるごみは、表4-3のとおり、収集、持込及び集団回収されることが見込まれる。

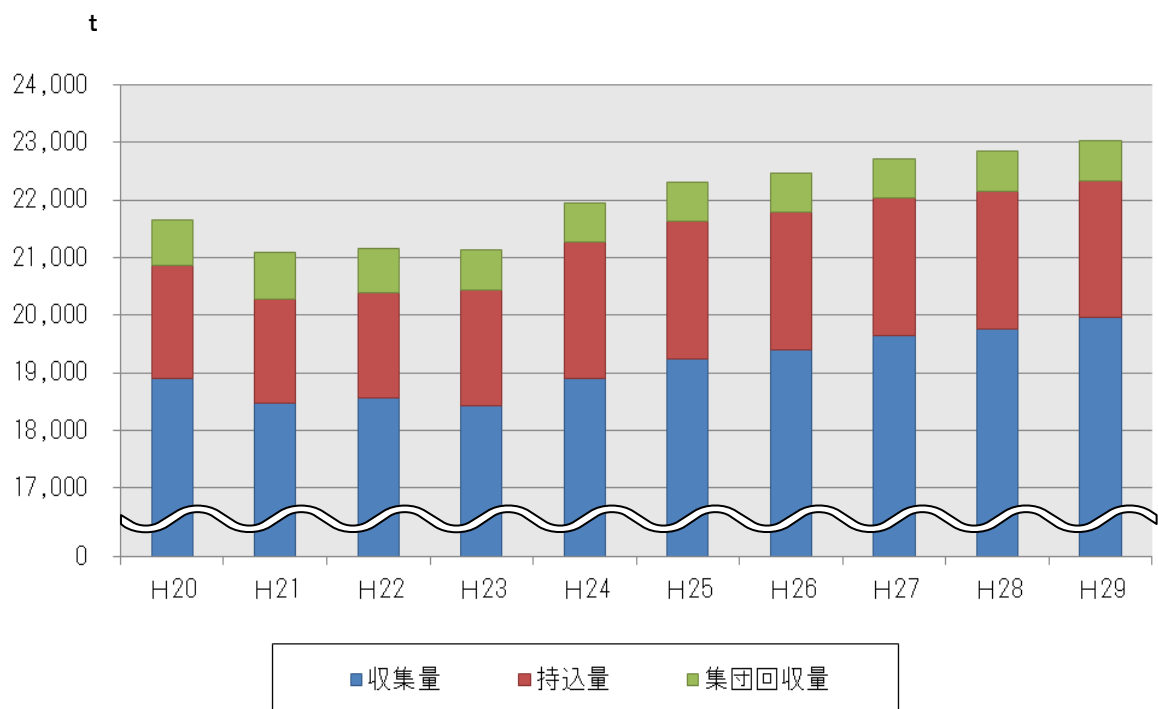
表 4-3 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ総排出量の内訳の見込み

(単位:t)

年度 区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
収 集 量	18,892	18,482	18,570	18,417	18,894	19,242	19,399	19,637	19,767	19,951
持 込 量	1,970	1,792	1,816	2,023	2,388	2,391	2,391	2,392	2,392	2,393
集団回収量	803	822	763	704	662	674	680	688	693	699
合 計	21,665	21,096	21,149	21,144	21,944	22,307	22,470	22,717	22,852	23,043

※ 平成24年度までの数値は、実績である。

図 4-3 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ総排出量の内訳の見込み



イ ごみ収集量の内訳

現状のごみ処理事業を継続した場合におけるごみの収集量は、表4-4のとおり見込まれる。

表 4-4 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ収集量の内訳の見込み (単位:t)

年度 区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
可燃ごみ	12,793	12,657	12,671	12,515	12,713	12,947	13,052	13,212	13,300	13,423
不燃ごみ	1,073	1,025	1,072	1,091	1,148	1,169	1,179	1,193	1,201	1,212
粗大ごみ	306	274	290	323	333	340	343	347	349	352
資源ごみ	4,720	4,526	4,537	4,488	4,700	4,786	4,826	4,885	4,917	4,963
合 計	18,892	18,482	18,570	18,417	18,894	19,242	19,399	19,637	19,767	19,951

※ 平成24年度までの数値は、実績である。

※ 資源ごみには、有害ごみを含む。

※ 持込ごみ、集団回収は除く。

図 4-4 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ収集量の内訳の見込み

